

小耳症 耳介形成術（肋軟骨移植） の患者さん

(入院診療計画書)

患者ID:

性別: 生年月日: 病棟: 病室:

患者氏名: 病名: 小耳症 症状:

入院日:

経過	入院 1 日目		入院 2 日目	
	1900/1/0		1900/1/1	
	手術前日		手術前	手術後
患者目標	入院・手術の準備が出来る		手術の準備が出来る	手術部位の安静を保つ事が出来る
治療・処置	外来ですること ・ 麻酔科診察があります ・ 手術部位にマーキングを行います		・ () 時に座薬を挿肛します ・ () 時にお薬を飲みます	・ 点滴をします ・ 抗生剤の投与があります ・ 痛みがある場合は薬を使用して和らげます ・ 尿の管が入っています
活動	病棟内自由です		お薬を使用した後はふらつくため、ベッド上で安静に過ごして下さい	・ 麻酔から目が覚めたらトイレ・洗面が出来ます 尿の管が入っている間は、ベッド上での排泄になります ・ ベッド上で安静に過ごしましょう ・ 耳を心臓より高く保つために、ベッドの背もたれを少し上げるか、高い枕を使用します
食事	・ 通常通り食べられます ・ 夕食以降は禁食です		・ 朝食はありません ・ 飲水は() 時の() mlが最後です	・ 帰室後1時間したら飲水出来ます ・ 問題なく水が飲めたら食事を摂る事が出来ます
清潔	シャワーに入れます		手術日なのでシャワーや体拭きはありません	
説明・指導	☐ 病棟内の説明をします ☐ 手術の時間をお知らせします ☐ 手術・麻酔・身体抑制・ピオクタニンの同意書をお預かりします		☐ 午前、手術室に入室の場合は午前8時までに病室にお越しください ☐ 午後、手術室に入室の場合は午前11時までに病室にお越しください	☐ 手術した方の耳をぶつけないようにしましょう ☐ ベッドで横になる時は、手術した方の耳を下にしないようにして下さい ☐ 傷の近くに入っている管が抜けないように注意しましょう
「栄養管理/褥瘡対策」要判断	☐ 特別な栄養管理の必要性		実施有無: 有 日程:	
	☐ 褥瘡対策に関する計画の必要性		内容: 耳介形成術(肋軟骨移植)	
メモ:				

小耳症 耳介形成術（肋軟骨移植）の患者さん

（入院診療計画書）

患者ID：性別：生年月日：病棟：病室：

患者氏名：病名：

小耳症

症状：

入院日：

経過	入院 3日目		入院 4 ～ 8日目	入院 9日目(退院日)
	1900/1/2		1900/1/3 ～ 1900/1/7	1900/1/8
患者目標	・手術部位の安静を保つ事が出来る ・痛みを薬で調整する事が出来る ・立つ・歩くを少しずつ行う事が出来る			退院後の生活をイメージする事が出来る
治療・処置	・点滴があります ・持続の痛み止めが終了したら尿の管を抜くことができます ・毎日傷のガーゼ交換を行います ・傷の近くに管が入っています ・痛み止めを1日3回まで使用出来ます		・毎日傷のガーゼを交換します ・手術後4日目に傷の管を抜きます ・手術後6日目に部分的に抜糸します ・痛み止めを1日3回まで使用出来ます	・痛み止めは持ち帰ります ・傷の状態に応じてガーゼ交換を行います
活動	・トイレ・洗面以外はベッド上で安静に過ごしましょう ・ベッドの背もたれを少し上げるか、高い枕を使用します ・病棟内プレイルーム以外は自由です			手術後3週間は運動を避けて、安静に過ごして下さい
食事	通常通り食べられます。			制限はありません
清潔	体拭きをします		術後4日目以降、傷のガーゼを濡らさないように首から下のシャワー浴、洗髪を行えます	・退院後は胸の傷の部位も優しく洗って下さい。耳は濡らさないようにして、いつもガーゼとヘアバンドで保護してください ・次回の外来までは湯船にはつからずシャワー浴のみとして下さい
説明・指導	☐ 手術した方の耳をぶつけないようにしましょう ☐ ベッドで横になる時は、手術した方の耳を下にしないようにします ☐ 傷の近くに入っている管が抜けないように注意しましょう			☐ シャワーの後、胸の傷はテープを適宜交換してください ☐ ガーゼがずれたら適宜戻して下さい ☐ 手術をしたほうの耳をぶつけないようにしましょう

主担当医氏名： 印 主担当医以外の担当者： _____

注) 上記の内容・期間は現時点で考えられるものであり、今後状態の変化に応じて変わることが考えられます。

年 月 日

上記の説明を受けました。

患者・家族サイン： _____

(続柄)